

# 「生理の貧困」から考える だれもが自分らしく活躍できる社会へ

女性だけでなく、  
社会全体で考えよう



参加無料  
定員30名  
(先着順)

「生理の貧困」って知っていますか？

生理の貧困とは、様々な理由で生理用品が入手できない、生理についての理解がない状態のこと・・・

生理の貧困を「知る」ことで女性が抱える困難、支援の必要性、そして家庭、職場、地域などでのジェンダー平等について考えてみませんか

日時

令和4年7月25日（月）13：30～15：00

場所

武雄市文化会館 大集会室B

講師

宮地 歌織 さん

佐賀大学 教育学部 客員研究員

【講義内容】

生理の貧困から考える

○女性を取り巻く現状

○女性の健康、活躍、ジェンダー平等への影響

○防災時のジェンダー平等の必要性 など



【専門】社会人類学、専門社会調査士、男女共同参画

申込み  
方法

下記の表にご記入のうえ、7月15日(金)までに電話、FAXまたはメールにてお申込みください。この申込書で、4名まで申込みができます。

	氏名	連絡先	団体名 (団体に所属の方のみ記入)
1			
2			
3			
4			

申し込み／問い合わせ先：武雄市男女参画課

☎0954-23-9141 / FAX 0954-23-9120 ✉ danjyo@city.takeo.lg.jp

※当日、会場にて検温・手指消毒のご協力をお願いします。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、急遽講座を中止する場合がございます。



「生理の貧困」は  
経済的な問題なの  
では？

「生理の貧困は経済的な理由で買えないこ  
とだけが理由ではなく、  
○子どもが親に相談しづらい  
○生理への無理解  
○生理をタブー化する社会的な偏見  
など多くの問題が潜んでいます。  
⇒正しい知識や情報を得られない  
「理解」や「教育」の貧困でもあります。



### ～生理用品は自分の身体を守るための必需品～

生理への正しい理解がないと身体的苦痛を伴うだけではなく、自分に自信を持って行動できなかつたり、学び、仕事や男女参画の機会が損なわれる恐れがあります。

### ～女性の活躍（あらゆる場面での）のために～

#### 【私たちにできること】

- 生理の貧困を「知る」こと、女性だけでなく社会全体で理解すること。  
「健康」と「尊厳」  
⇒安心して生活できる、自己実現できることが女性の活躍につながります。
- コロナ禍の中で浮き彫りになった女性に対する「貧困」  
社会的背景などを理解し、困難や不安を抱える女性へどのような支援が必要なのか、  
みんなで考え、寄り添うこと。
- 男性と女性のはからだの作りが異なっていることを理解し、違っていても平等という  
「ジェンダー平等」について考えること。  
家庭、職場、地域で平等に責任や権利、機会を分かち合うこと。

#### ジェンダー平等とは

「社会的性別」とも言われ、私たち一人ひとりが持っている「男らしさ」や「女らしさ」に  
ついてのイメージや意識、考え方のこと

男らしさの例：力強い、決断力がある・・・

女らしさの例：優しい、繊細さ・・・

#### ～みなさんで考えてみましょう～

- 「男らしさ」「女らしさ」っていつ、誰が決めたのでしょうか？
- 災害、新型コロナウイルス感染症拡大で家庭・社会はどう変わりましたか？
- あらゆる分野において、なぜ、女性の参画は必要なのでしょう？



**男女共同参画とは**（Gender equality：直訳すると「ジェンダーの平等」）  
「女性（男性）とはこういうもの（こうあるべき）」という考え方によって  
行動や考え方、生き方を制限されることなく、男女がよきパートナーとして  
お互いに尊重しあい、性別にかかわらず、様々な生活の場面で一人ひと  
りの個性や能力を十分に発揮できるようにしよう、ということです。

